



後半ビッグニュースが入って来ました！！ 2月巻頭文に替えて



本当に、今時、戦争など 何か時代後れの帝国主義的なやり方の感じがします

ウクライナ、小学校のころ、ユーラシア大陸にウラル山脈があってウクライナという穀倉地帯があると教わりました。

日本は現在もそこら小麦を輸入しています。

小国は大国の御情け、善意をあてにしなければ存在できないのでしょうか？

何かあったら一矢を報いる覚悟も必要でしょう

ウクライナが、どのように対処するか見守りたい。

中国の動き、発言にも注目したい。

また、難民が流入する隣国は、どのように対処するのか？

シーザーの時代くらいまでさかのぼった歴史が継続している感じがです

=====

西山 和宏

=====



大石さん

早速 メール頂き有難うございます。

八期会 LINE で いろいろな ご意見 見せてもらいました。浜崎会長の意見も久しぶりに見ました。

ロシアのウクライナ 侵攻 大きくなってきているようです。

日本も 独裁国家 三方に囲まれた感じで 今後 どのように 滞欧して行ったらよいか

心配です。

戦争を 体験しているし、記憶が残っている 私共が 最後の年齢層と思います。

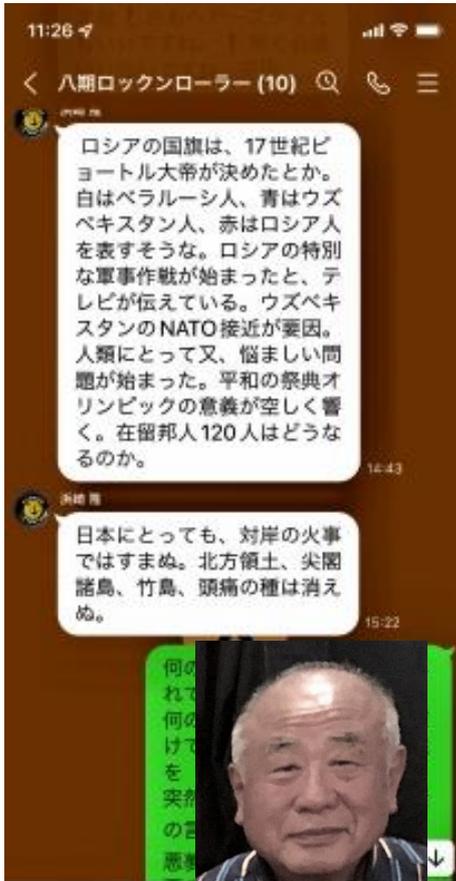
ほんとに 怖いです。防空壕 掘るところもありません。どうしたら 身を守ることができるか

心配です。ロシア、中国など 地下鉄が ものすごく 深いところに駅が作られており、緊急事態には 防空壕の役を果たします。

台湾・中国問題抱え ともかく 話し合い外交が重要となります。日本が 米中の中をもって話し合うことが出来ないか？ 思っているところです。プーチンは核兵器を使用するなど脅しています。核兵器を使うような 大きな戦争に拡大したら 世の中が 終わりになりそうです。

とても 心配です。

以上 木場 祥雄



何の術もなく手足をもぎ取られていく小国、何の理由もなく自分の都合だけで何十万という平和な市民を突然奈落の底に陥れる独裁者の言動！
悪夢のような、ドラマか？映画のような現象が起きてる！
いろいろ叫んでる自由諸国も実際は助ける術もない。
嘗ては直ちに報復行動をとっていた大国アメリカの弱腰そして各国それぞれ自国の事情があって手が出せない！
美しい国、世界有数の美人国ウクライナ...留学生マリアの顔が浮かんでくる。SNSでの同い年返事はまだない...心配は募る。



〇2月1日

馬毛島問題、もう仕方ないと思います。にんじん🥕が絡んでますし、西の表市長も苦渋の選択だと思う。



元国会対策委員会の森山裕さんが中に立って市長をなだめ??ているのでは？

新しい本（西郷隆盛）が出ました。徳永和喜館長の書かれた本なのでちょっと学術書的な匂いもしますけどやはり読んでみたいと思います。

おもしろかったら送ってあげましょうか？都会の本屋では買えないかも。



〇残念ながら私の思っていた通りの展開ですね！

こうなると、流石に朝日新聞記者だった八板市長も手の施しようがなくなったのでしょうか。

市民とも対話をした挙げ句の動きのようですから条件闘争に入ったほうが賢いと思ったんでしょう。

私はむしろ、八板市長に同情します。

一方で政府は喜んでいることでしょう。

政府が無茶をしても、結局は金と力で思う通りのことができるということで今後の施政に私から見れば悪い例を残すことになります。

もっと与野党伯仲の世の中を作るしか無いのではと思います。

野党もお互いに足の引っ張り合いをしている状況を脱して、国民にわかりやすい政治をして支持を得る努力をするべきでしょう。

徳永さんの本は今朝新聞で見て知りました。買って読みます。



おはようございます！！ 先だって以来、お世話様です！！ 今回の gmail のアドレスを知り合いの方々へ、「通知」したいのですが、今の新しいパソコンでは、従来の「アドレス帳」が保存されていません。

そこで、今おのラインなどの記載されているごく親しい「友人」などを対象に、一度に、【CC 扱い】などで、一挙に「送付」する方法はどうすればよいかなど m の、教えてください。

これが宇なくゆかなければ、やはり、ハガキなどで、メール・アドの「変更通知」を出すことになりましようかね？！ よろしく、ご教示ください。それから、お送りした「終戦秘話」は覗いていただけましたか？

隈元氏は、早速、小生の拙文を読破されて、感想をいただきました。皆様とまゝチュ宅同じ年代に「輩達」体験だけに、皆さんも共通の認識があることで、共感が持てるかと思えます。

時間がある時、覗いてみてください。

本田

〇2月3日



わかりました。

まず相手の email アドレスを分かっている人は gmail アドレス帳を作るのが一番です。

名前と email アドレスと電話番号だけでいいです。

相手から本田さんのパソコンの受信メールにきたメールならどこかに相手メールが載っていますので。見つからない時は本田 gmail から相手に、本文の中で、以下のように新しいメールアドレスです。と、tnhonda117@…を書いて出すといいと思います。

ハガキで出す必要はないです。

ハガキに gmail アドレスを書くなら相手の携帯電話にショートメール (sms) で新しい gmail アドレスを書いて送ってもいいと思います。

○2月4日



アド作製について・・・

友人などのアドを登録する事と、スケール【分類】については、方法が分かりました。

ありがとうございます。

しかし、昨年、PC を変えたために、前の PC の保存してあった友人などの「アドレス帳」が不用意にも消えており、今、メールをやり取りしている方とはメール・アドが判明していますが、その他の友人などは、メールアドレスが分からず、やはり、ハガキでこちらのアドを知らせて、メールをもらうなりすれば、相手のアドが「登録」できることとなります。

いずれにしても、一度、やはりメールをもらうことで、「返信」もできて、アドのこちらでの「登録」もできることとなりますね？それには、今月中でもやはり「ハガキ」でのお知らせが必要になりそうです。

それから、今までのアウルックスのメール受信システムは、やはり残さざるを得ないと思いますが……？

○了解しました。



outlook を使用しているプロバイダーメールアドレスは大事に置いておく必要あり…例えばネットやキャッシュレス (カード) などのメールで既に使用しているはずなので。ただ、これからの場合は gmail アドレスとパスワードでも心配なく使用していいと思います。

ハガキを出すのはいいかもです。

今度は本田さん講演文章を専用 YouTube を作って公開アップ  する方法を教えてあげたあとだと思います。Google   が必要なのでよかったです。

--

○西郷顕彰館館長の徳永和喜さんが書かれた本



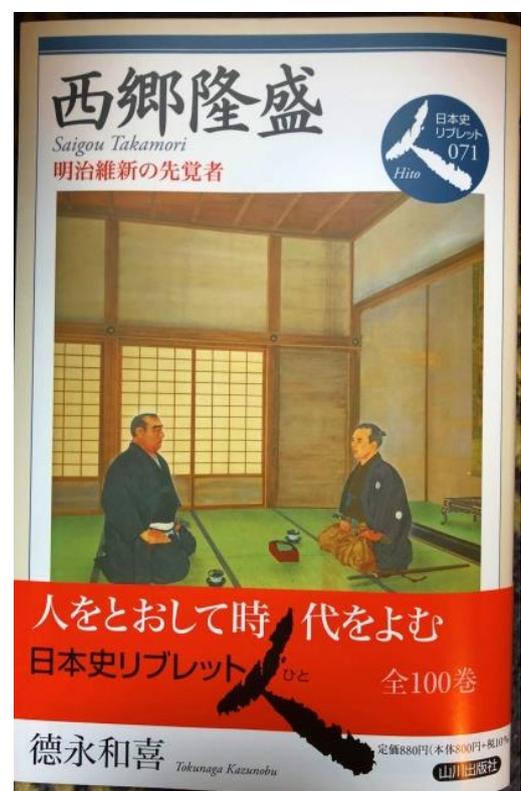
類書にない内容のものだと期待しています。

本の表紙にある絵は聖徳記念絵画館に展示された

最も権威あるものだと思いますが

作法として間違いの見本のようなものです

勝海舟が上座は容認したとしても



勝海舟の刀が左に置かれているのは抜き打ち座というありえないことです。

あの刀の置き方は時代劇でもありませんこの絵の寄贈、制作には所縁の者が携わり

西郷さんの孫が寄贈者になっているはずですが。機会がありましたら徳永和喜さんに質問してください

この件は、以前隈元さんにもお願いして調べて貰ったことがありますが、結論を得ていません。

なぜ、このような構図にしたのか不可解です。

=====

西山 和宏

=====

○2月5日



大石さん

インターネットで 山川出版社 日本史リプレット人シリーズ西郷隆盛でクリックすると表示され 880円 送料無料で購入できました。

ありがとうございました。

木場祥雄

○よかったです。早かったですネ。こちらで買って送るより早いですね。



○2月6日馬毛島、これにて決着か？

これから先、長い長い期間、飛行訓練による騒音に種子島の島民たちは、苦痛に耐えていかなければならないでしょうね。

馬毛島近海の漁場による補償問題は解決できるかもしれませんが。



○「特段の配慮」の活字から沖縄戦の牛島満大将（鹿児島市出身）を思い浮かべた

沖縄は、どのような「特段の配慮」を受けたでしょうか？



第2次大戦後、フィンランドはソ連軍の進駐を受けましたが、その後、撤去しました1980年に訪れたとき、どのようにして撤去させたかを質問すると具体策策は言いませんでしたが、ありとあらゆる嫌がらせをしたとのことでした。

撤去させた後、冷戦時代、フィンランドの商社はモスクワに駐在所を設けて西側との貿易の窓口になり、大いに利益をあげました

フィンランドの軍隊は退役後、民間会社への就職に役立つ技術習得に

重きを置いているそうです。

地方自治体は中央政府に、中央政府は外国に、もっと強かになるべきでしょう
それが国際化です。

「和を以て貴しとなす」は得手勝手な者やわからずやには通用しません。

=====西山 和宏=====



○10年間で290億円とは、これ如何に！

しかも昨年12月には、袖の下からチラチラさせていたとのことで、これでは反対派の住民も動揺するはずで
す。

地方財政も食卓も正義では飯は食べませんからね。

板挟みの八板市長に同情を禁じえません。 隈元達雄



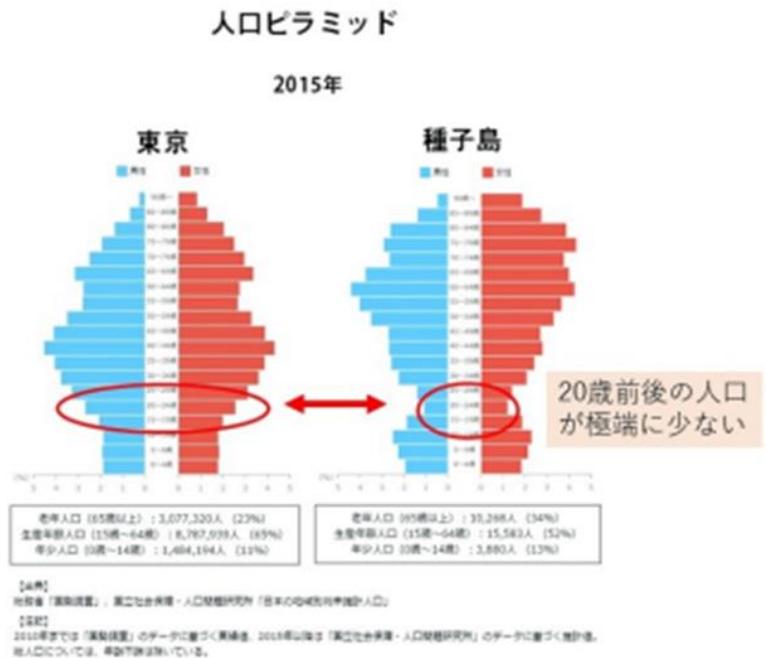
○10年間で290億円

種子島の人口は約3万人

1人当たり平均100万円を10年で
年平均では10万円也

これで「特段の配慮」？

種子島の人口ピラミッド



○2月6日

アメとムチ馬毛島問題 中

そのうち種子島本島のどこかにに米軍基地が出来て鹿屋航空基地と連携...負のエスカレートが浮か

びます。パンドラの箱  にならなければいいけど!



○原発の立地と同じですねえ。

最初に甘い汁を飲ませて、その味を忘れ去ることが出来ないようにする。

そこには、依存体質がはびこってしまい、そこから抜け出せなくなる。

もう、いつものパターンと諦めましょう。 クマ



○お金で解決しようというのであれば

政府提示の交付金だけで満足せず

施設などへの特別不動産税でも考えて、

あの手この手で、お金をひきだしてもよいでしょう

今の内に騒音や米軍・自衛隊の行動について
あらゆることを想定したアイデアを島民から募集して、
取り決め、約束をさせるのはどうでしょう。

政府の幹部だといっても2～3年で配置換え

問題が起こっても担当の間だけごまかして去って行く。=====西山 和宏=====

○2月6日

『私の1945年6月17日』読みました。

末吉和子さんの作品今読了！



おすすめ頂いたように、読み応え充分、本田作品に劣らないストーリーでした。

短いセンテンスの連続がビジュアルな連帯感を醸し出しています。

女流純文学作品を読んでいるようです。

あの、「親の被爆地に佇む原爆少年」を思い浮かびますね。

本田さんが強くお勧めするのがわかります。

ありがとうございました😊

末吉和子さんとは今もお付き合いしていますか？

宜しくお伝えください。…とてもいい作品ですと。

--

大石慶二 keiji oishi

○やっと全作品読み終えました。

それにしてもみなさん記憶がリアルだと思いませんか。

○ 私も先日読了しました。

本田さんには「わが家の台湾からの引き揚げ(帰国までの)動向記録を読んだところで一応の感想をメールしましたが、



全てを読んで感ずることは同じ年齢でありながら記憶が凄いなと思いました。

私は当時のことは、写真の一コマ一コマが時々頭に浮かぶようなことですが、皆さんの記憶は微に入り細に入り思い出して書いておられます。

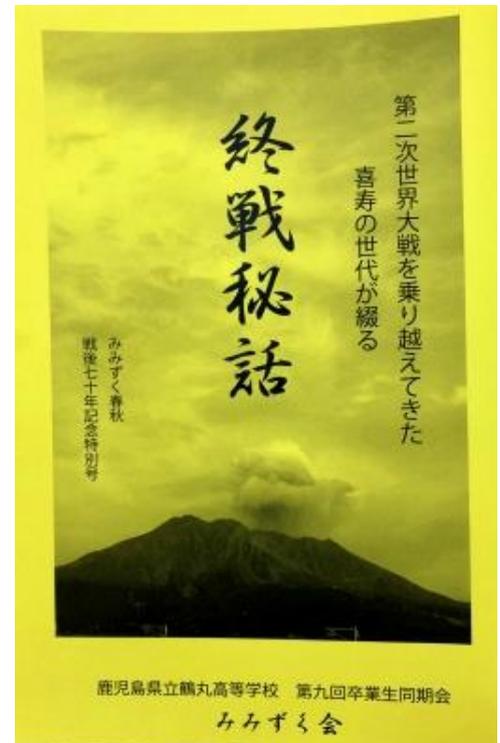
特に末吉和子さんの文章ははっきりした記憶に基づいて、しかも大石くんも書いているように文学作品です。

「もう一つの城山トンネル」も初めて知りました。

デマに惑わされて戦後まで疎開をされた話など、悲劇です。

桑鶴武義さんの「知覧特攻基地の思い出」もいいですね。

田上早苗さんの「鹿児島大空襲とその前後」はこれも記憶が素晴らしく長文です。私は6月17日の鹿児島大空襲の時は上東郷村に既に疎開をしていましたので、その怖さは後で聞いただけですが、もし当日鹿児島市に留まっておればわが家は全滅だったかもしれません。



書き出したらキリがありませんが、外地から引き揚げてこられた本田さんはじめ沢山の方の苦労は如何ばかりだったか
と思います。

「平和とは何か」というテーマについてはみなさんが同じようにもう戦争はいやだ！ と不戦を願っておられることに大い
に共感しました。

隈元達雄

○クマタツさん

いやあなかなか立派な本（記憶）ですネ。



さすが鶴丸!?!と書いていいのかなあ。

八期の記念誌も「わたしの終戦秘話」を付属で募集すればよかったのかなあ。残念！

あの「もう一つの城山トンネル」の新照院側の出入り口はぼくが住んでいた家の裏にあったようです。

新上橋電停の城山側にはあそこに東カンマンションができる前まで防空壕の穴が5.6個並んで穴が見えていま
したネ。

その後、見苦しいのか隠すように映画の予告看板が並んでいました。

まあその頃のことでも遙かな脳内記憶を呼び起こさなければなりません。

あの、みみずくさんたちのクリアーな記憶力に乾杯（拍手）です！

この本は早く、八期の知性西山氏に送って感想をもらいたいですネ。

記憶八期といえば、下池どんの戦争体験談や上海で苦労した満山一朗くん…結構いそうですが、もう10年早
かったら…と、思います。

最近ではテレビを見ていて、コレ前観たよね！と妻に言われても思い出さなくて悔しさと心配??をします。

○大石、隈元 様へ。



「終戦秘話」をお二方とも、早速「読了」いただき、感謝です。

昨年のあの「原爆少年の佇む姿」の時、我々「みみずく会」のhpでも、第二次世界大戦を体験した「最後の世
代」であり、後世の人への「語り継がれる逸話」としての、戦争時前後のそれぞれの貴重な体験を文章化して
残そうと、この「特集号」の出版を行ったという事をお話したのですが、当時、

この「本」が手元に余裕がなく、残念に思っていました。

同期生（卒業当時450名ほどの9クラス）のい中でも、たった20数名の輩の「戦争体験談」ですが、それぞれが、稀有で貴
重な「体験」であり、出版当時、皆様の「評判」も高いものでした。

この寄稿者の内、既に4名の物故者もいる、ただいまの「時」となりました。

あの時、やはりこのような「本」にしてよかったとつくづく、思い起こしています。

小生も息子、娘一家にも読んでもらいました。自分たちの家族、特に彼らのにとっては「祖父、祖母」に当たるこの夫婦の
「生き様」を親族への「遺言」として残すことができたこと、今となっても自分の両親の「ありがたさ」を身をもって「体験・享受」
できたことも含めて、「家族の絆」を伝えることができました。

発行当時、もちろんみみずく会員はほとんどすべての生きている輩は、入手しましたが、それ以外での自分の知人・友人らにもお知らせして、小生も70冊ほどの方々へ、お送りする事が出来ました。

それが、後になっても「評判」となり、アチコチからも要求されることにもなったのですが、出版元は、これの編集に当たってくれた仙田博君が、鹿児島市内の「知り合い」の小さな印刷屋さんとの事で、再版が困難でありました。

昨年来、何とか数冊でも残っていないかと彼に再度お願いして、今回やっとご両名へお送りできた次第です。 発刊当時から、玉龍高の皆さんと知り合っていれば、当然、ご案内をしたのですが、その以前での「発刊」でありました。

どうやら、あと数冊、あるやに聞いていますので、入手できれば、その節は、森さん、西山さん、木場さんなどにお送りできるかもしれません。

3冊用意できるか今のところわかりませんが、このお三方でよろしいでしょうか？

このような「本」であるだけに、ご関心のある方に、差し上げたいと思っています。

それに、大石様には、何度もご連絡いただき、スマホ、パソコンなどの Gmail のことなどで、ご指導いただいておりますが、自分で試しているのですが、今は「迷路に入った」ようで、なかなか前に進めません。

いずれ、市内でも時間をとっていただき、直接、スマホなどを手に取りながら、ご指導いただければ、嬉しいです。 よろしく、願ひ上げます。

2022, 2, 7, 本田 哲郎。

○大石、隈元、様へ。



(追伸)

「終戦秘話」の寄稿者である「末吉(旧姓川畠)和子」さんとは、高一の時の同じクラスで、今も電話など常に連絡を取りながら、交流させていただいております。

彼女は、同期生一の秀才でありました。 付属小、中からの鶴丸へでしたが、まずは女性徒の中では「ピカー」で、抜きんでいました。

彼女の甥子が「盲目のヴァイオリニスト」の「川畠成道」君であります。

彼は、幼少時、アメリカのカリフォルニアのロスアンジェルスに祖父夫婦で行き、あちらで「風邪」を引いたようで、祖父が言葉が分からず、やっと薬局で処方された「薬」を飲んだところ、却って、重病となり、皮膚が全身ただれる重篤な「病」になって、あちらのカリフォルニア大学病院で数年間治療後も、両眼が爛れて、全盲目となりました。

その後帰国しましたが、彼の父親が東京芸大付属の交響楽団のコンサート・マスター【ヴァイオリニスト】であることで、この「全盲の子」の生かすべき道として、ヴァイオリニストに育てようとして、両親が渾身の努力を重ねて、それが桐朋学園という音楽専門の高校・大学に進学して、当時の日本の第一人者である江藤俊哉に見いだされ、さらに大学卒業後、イギリスの「王立音楽院」に留学【母親が付き添って】して、同校を首席で卒業して、その後、日本デビューを果たしました。

そのころ、小生も現役で東京在住であり、叔母の末吉和子さんとは、同期会での常連で、知り合いであり、自分がクラシック音楽が好きであることを承知していたので、川島成道君の最初のコンサート【サントリーホールで、小林健一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団でのメンデルスゾーン作曲のヴァイオリン協奏曲】から彼を紹介されたのです。

この日本デビューは、彼の異才な才能が爆発したかのように、自分も感銘を受けましたが、音楽界でも大変な評判となり、一躍、ヴァイオリニストとして、華やかにデビューを飾りました。

その後、「歌を翼に」などのバイオリンの名曲などのCDが、クラシック音楽業界の常識を破るほどの売上を記録していました。

自分も「オジサンの追っかけ」として都内周辺の彼のリサイタルや演奏会を聴きに行く「ファン」となりました。

こちらで帰郷後、彼は元々家族は鹿児島出身であり、彼のお父さんの同期性【付属小、中の】を中心に、小生らが発起人となって、彼の「鹿児島後援会」を組織して、会員を募り、毎年のように、鹿児島での「故郷がえりコンサート」を自主的に開催しています。

その後、20数年たちましたが、今は、隔年でのコンサート【県民ホールや川商ホール】のほか、コンサートのない年は、「レストラン・リサイタル」として、中央駅近くのソラリア「西鉄ホテル」ビル7階の「クワハラ館」などや城山ホテルなどで、昼食を摂りながらの小さなリサイタルなども継続して、今も後援会活動をやっています。

今や、彼の「眼」の治療も、何度かの高度医療手術で、多少は視力が回復しつつあり、舞台への「出入り」も一人でできるほどになっています。

今度、当地でのコンサート等が開催されるときは、ご紹介します。

是非一度、彼の繊細な音色を楽しんでいただきたいモノです。

東京にも彼の「ファンクラブ」もあります。彼の名を「検索」いただければ、彼の活躍が見られます。 よろしく！！

末吉和子さんの「甥子」の川島成道君のヴァイオリニストとしての「有様」を紹介させていただきました。

○川島成道さんは「盲目のヴァイオリニスト」だったのですか。

本田さんのメールでいつも追っかけをされて「鹿児島後援会」の中心人物として後援されていたことは知っていましたが、



才女の末吉和子さんの甥っ子でもあったのですね。

しかし、現在の医学で自分で一人で少々ことは出来るようになったこと、嬉しいことです。

「終戦秘話」は早速家内にも読むように勧めました。

独り占めはもったいなく、たくさんの人に読んでもらいたいと思っています。

八期会の読書希望の人にも巡回しましょう。

隈元達雄

○大石くん

「八期記念誌」は大石くんのがんばりで素晴らしいものが出来たと今でも思っています。



あの中にも、戦争の事を書いたものも何編もあるし、今でもときどき読み返しています。

八期の「戦争秘話」は書ける人がいたら八期通信の「巻頭文」に依頼したらどうでしょう。

鶴丸の「終戦秘話」も素晴らしいですね。

なかには、亡くなったと思った母親が父親の再婚後に生きていたことがわかったというような、戦争が生み出したドラマミ
たいな悲劇もありますね。

この歳になると、もう包み隠さず書き残していくということだと思います。

隈元達雄

西郷隆盛（明治維新の先覚者）

しっかりした内容（参考文献も）のオススメ本で
す。Amazonで送料無料ですぐ届きます。
目次コピーして送ります。



○注文しました。

西山 和宏

○西山さん！



忙しい方にごめん🙏

何だか本の無理強い（勧め）しているよ
うですネ。

実はそのうちもう一冊、コレも本田さん
から是非読んでみてください。と隈元氏とぼくに送
られてきた同人誌です。

ぼくたちと同じ歳のみなさんの戦争秘話（逃避行）
です。あまりの記憶力にクマタツさんと読後感を同
じにしています。

そのうち送りたいと思います。



○2月7日 今日の新聞切抜きから『摩崖仏』



「磨崖仏と悲運の姫君」について単独行
で訪問して書いたブログ2020年11月18日
日付の部分と、

そのブログの最後に行きたいと書いた「伊集院忠
真」の墓所を大石くん、森くん、南郷くんと一緒に訪ねた2
0121年9月28日のブログがあったので、添付します。

隈元達雄



<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202011180000/>

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202109280000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202109280000/)



中国から何らかの譲歩または黙認を得るなら米中対立の今がチャンスである。

人道上の措置を理由に尖閣に遭難者用に救難物資貯蔵の避難所を置くのもよいでしょう。

相手が困っているときに、踏み込むのが外交の常道であるらしい。

お人よしでは、取られるだけ奪われるだけ。

馬毛島で訓練する米兵にとって、

鹿児島湾、城山の岩崎谷から錦江湾に突っ込んで桜島へ向かって急上昇、

真珠湾攻撃の訓練場所として、源田実が選んだ場所で

そのコースを飛んでみたいとい誘惑はあるだろう。でも実行は禁物。

騒音の被害は種子島だけにとどまらないと思う。

=====

西山 和宏

=====

〇隈元くん！
ブログさっそく見（読）ました。



良く書かれています、と共に良く調べています。画像からはよく分かりませんが何とか保存出来ないのかなあ。そのうち跡の案内板だけになるかも。

昨日から徳永和喜著『西郷隆盛』読んでいます。（彰義隊の抵抗）70頁…辺りです。

この手の本は日時と行動（手紙や文書も多い）中心なので講義の方がわかりやすいけどこの本はまあましな方かもしれません。

宮城谷昌光さんのオンライン講演会が楽しみですネ。その前にもひとつ歴史講演会がありましたね。

大石ケイジ

馬毛島計画 黙認

市長の方針転換

西之表市馬毛島への米軍機訓練移転と自衛隊基地整備計画を巡り、八板俊輔市長が岸信夫防衛相と3日に面会した際に手渡した要望書が市ホームページで公開された。その後半部分の内容が、計画不同意から、容認に転じたという市民に受け取られている。基地整備に伴う米軍再編交代金や自衛隊員の居住に「特

要望書

真意届かず 市民戸惑い

段の配慮を求める部分。幹部ら数人で推敲を重ね、極秘扱いだった。担当課以外の中堅・若手職員の一部も「突然の方針転換」と受け止めた。

■象徴

八板市長が防衛相と面会し、その後記者会見に臨む傍らには、計画推進に向けて地元調整に動いた森山裕衆院議員（鹿児島4区）の姿があった。新聞やテレビの報道を通じてその様子を目にした市民には、「方針転換の象徴」

■火種

市中央部に位置する古田校

区の窪田良二区長54は「（要望書は）計画への暗黙の了解」と受け止めた。自身は中立の立場を取り、八板市長が今後の方向性の検討材料とするため1月に行った地元5団体へのヒアリングに参加した。トップとして（計画の是非を）判断する覚悟はあるのか」とたたきしたが、明確な返答はなかったと明かす。

八板市長は防衛相との面会後「しかるべき時に考えを示す」と明言を避けた。「トップ対トップの場だからこそはつきりと言うべきだ」と窪田区長。「方針転換の経緯を含め空白部分が多く、市民は戸惑う」と苦言を呈す。

八板市長は4日、鹿児島県の塩田康一知事との面会後、報道陣に「市民の安心安全を守るための措置を優先し、国と協議する場の設置を求め」と要望書の真意を説明。計画に関する自身の考えは変わらないとしながらも、「判断材料がそろっていない段階で市長として賛否や同意の可否は言えない」とした。こうした曖昧な言い回しが市民の混乱に拍車を掛けている。要望書を巡り、浮き彫りになった市長と市民の認識の違い。今後新たな火種となる可能性をはらんでいる。（この連載は緒方隆、西悠宇、吉松晃子が担当しました）

○ブログ読んでもらってありがとうございます。

徳永さんの「西郷隆盛」と昨日の新聞の読書欄に載った「旧説 VS 新説」幕末維新43人 @980円



の2冊を2,3日中に本屋に買いに行こうと思っています。

アマゾンに断ったのに又 いつの間にか「プライム会員」にされていたので解約しました。

今日は、以前大石くんから一回貸してもらって、後で自分でも買った 文芸春秋の別冊「西郷隆盛を知る」の中の阿井景子さんの「西郷はどのように死んだのか」を中心にブログを書きました。 隈元達雄

○一応、2冊とも読み終わりました。

徳永和喜さんのは再読(早いうちに)するつもりですが、幕末維新43人は



新しい発見は何もありませんでした。

一人物に2,3頁では物足りない感が否めません。

読み終えてますので差し上げます。

線も入れてない新品です。

今度月末の桐野作人講演会の時に…

もっとも高い本でもないのでも早く読みたかったら本屋でついでにお買いになっても結構。

○そうでしたか。

それでは「旧説 VS 新説」は買うのは止めます。



講演のもう一つ、「文化遺産シンポジウム」2月26日はメールで森くんも入れて3人分申し込んでいますが、抽選とのことでまだ連絡はきていません。

コロナ禍で中止にならなければいいですがね。

今日はこれからグラウンドゴルフです。

隈元達雄

○2月10日

南日本新聞社のシンポジウム、3人OKでした。

転送します。 隈元達雄



----- Forwarded message -----

From: 観光・文化スポーツ部世界文化遺産室世界文化遺産係 <sekaibunka2@pref.kagoshima.lg.jp>

Date: 2022年2月10日(木) 20:02

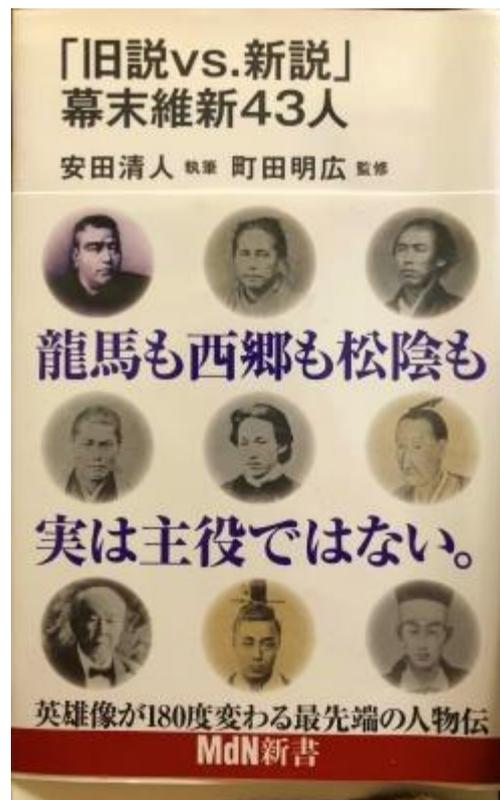
Subject: 【「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムのご連絡】

To: <takumamoto2@gmail.com>

この度は、「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムにお申し込みいただき、誠にありがとうございました。

抽選の結果、「当選」されましたのでご連絡いたします。

当日、会場までお気をつけてお越しください。



《開催概要》

●日時:2022年2月26日(土)13時30分～16時30分

12:30 開場／受付開始

13:30 開演／主催者挨拶

13:35 基調講演

15:20 パネルディスカッション

16:30 終了

●場所:南日本新聞会館4階 みなみホール
(鹿児島市与次郎1丁目9-33)

○森です！



折角申し込んでいただいたのに誠に申し訳ありませんが当日は5日の老人クラブ研修旅行(宮之城方面)がコロナ蔓延防止が施行され26日に延期した為参加できなくなりました。お二人で勉強してください。



○南郷くん誘ってみましょうか？

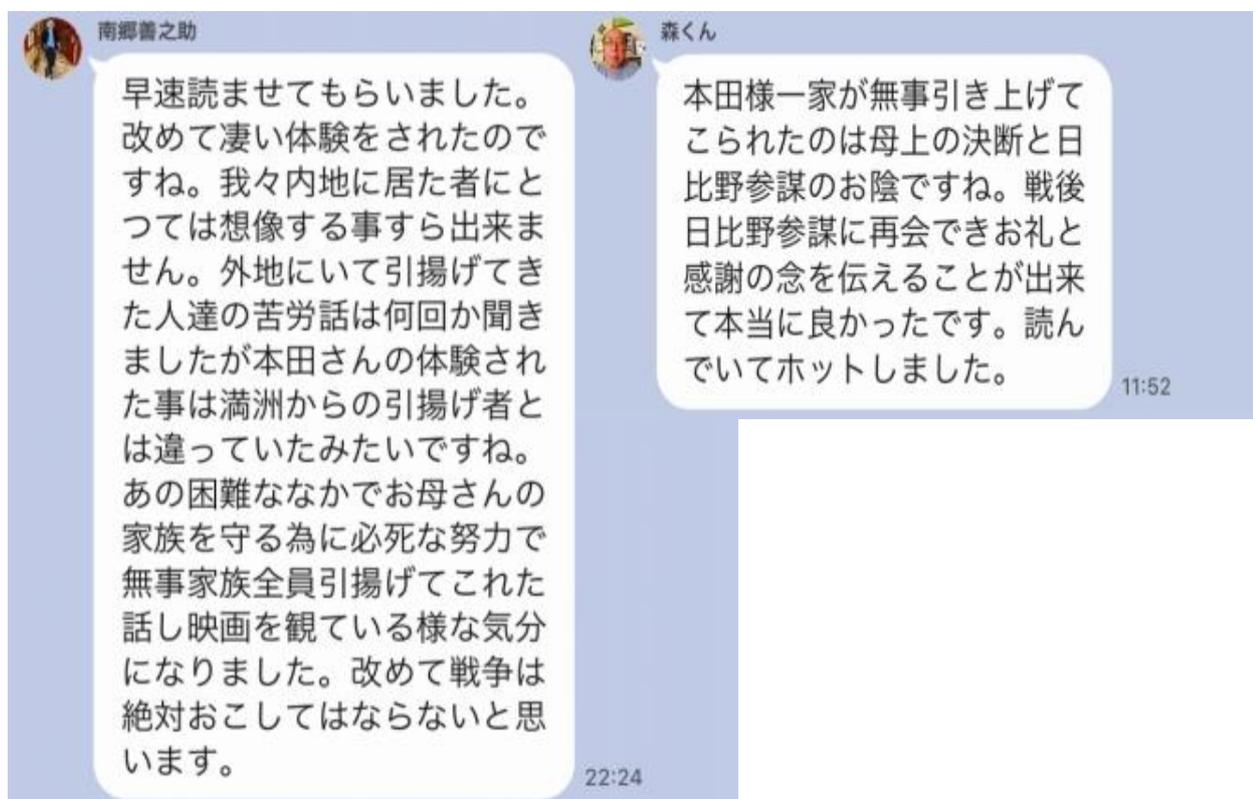
もったいない...内容ちょっと硬いけど👉



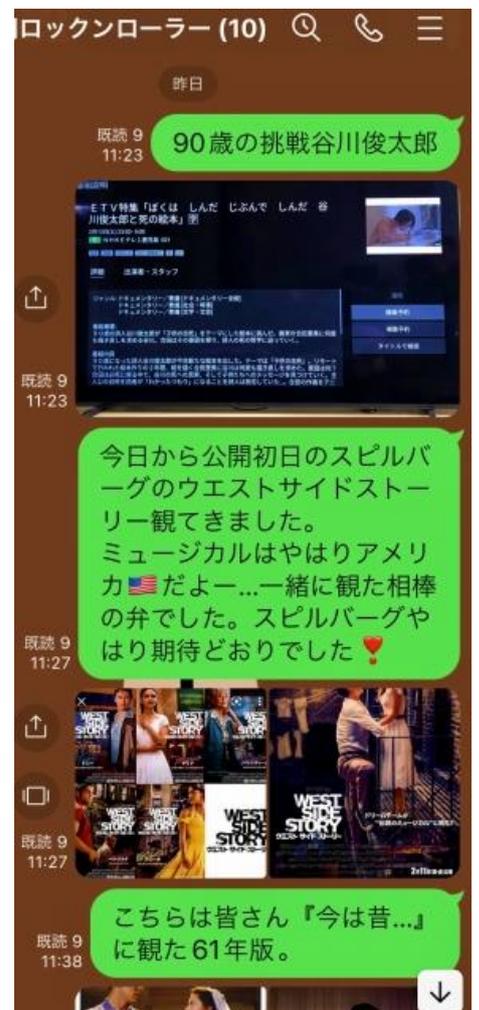
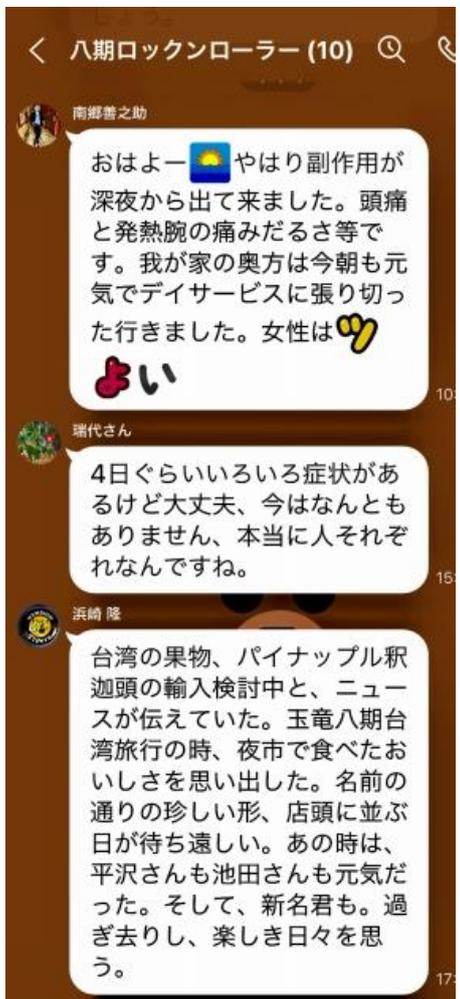
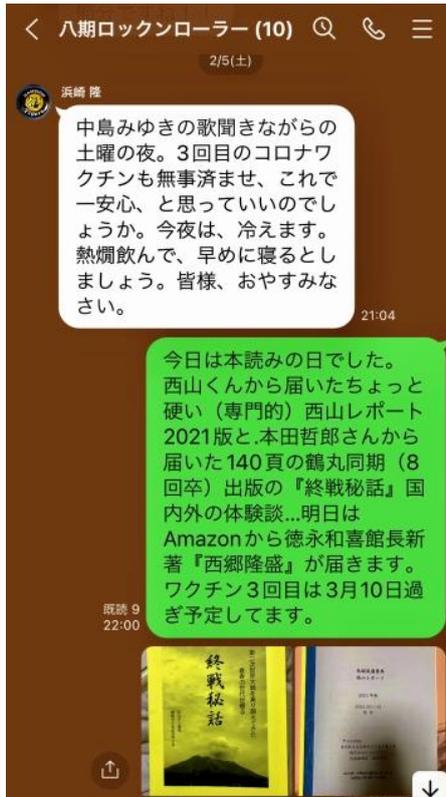
○せっかくだから誘ってください。

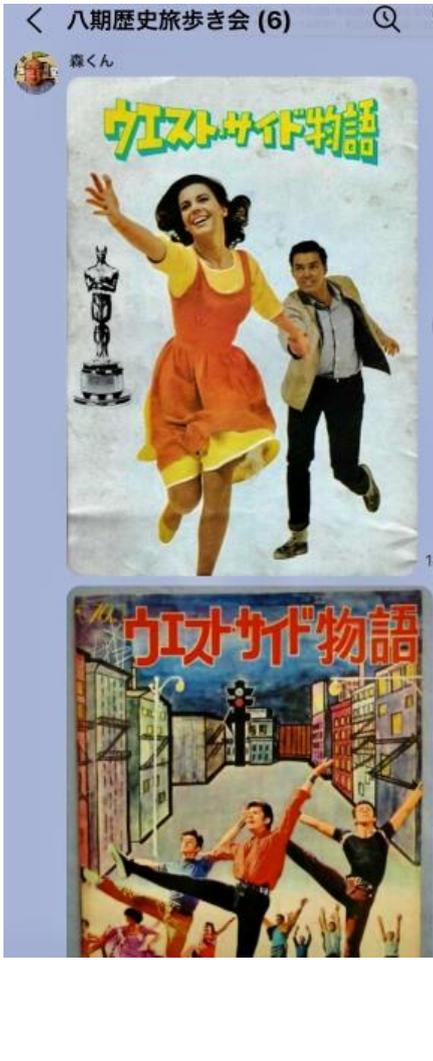
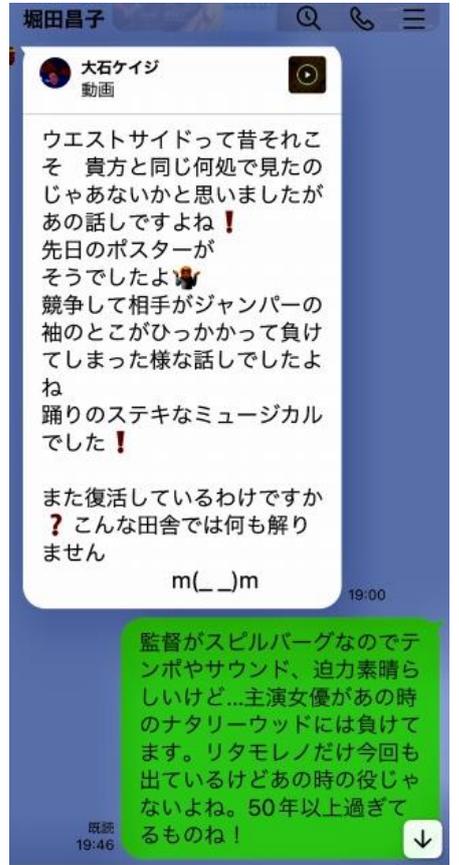
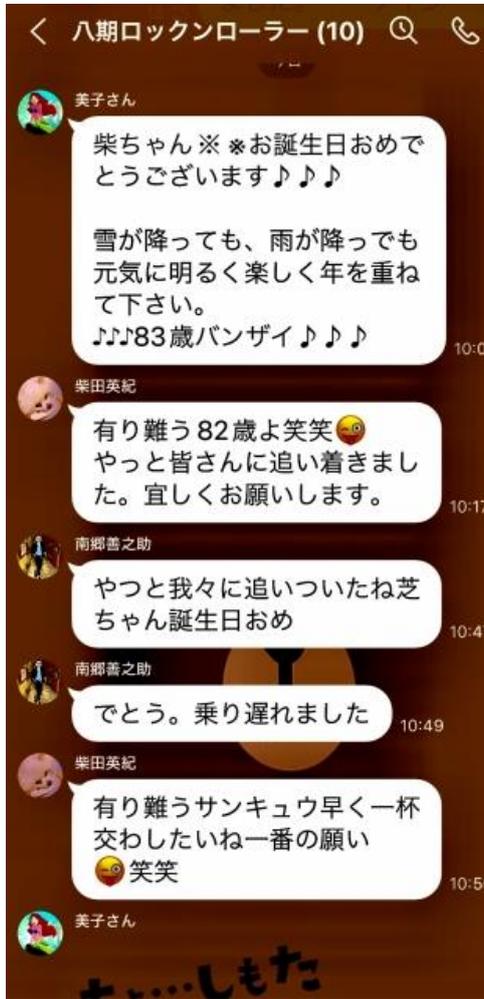
近い場所だし、お互いに頭の体操にもいい機会だと思います。 隈元達雄

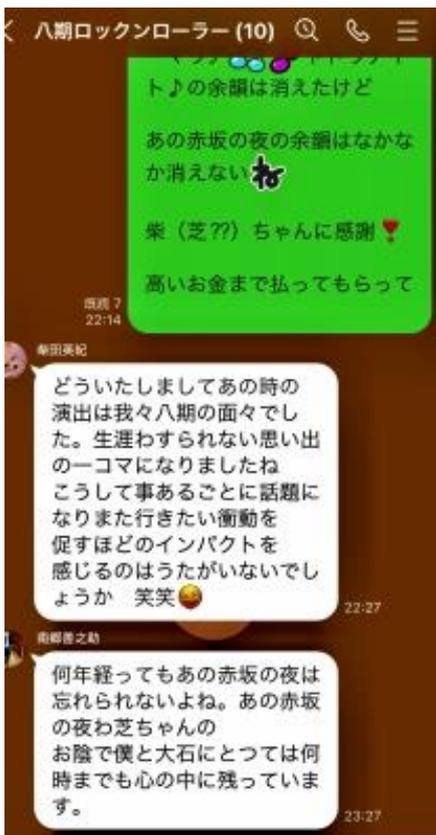
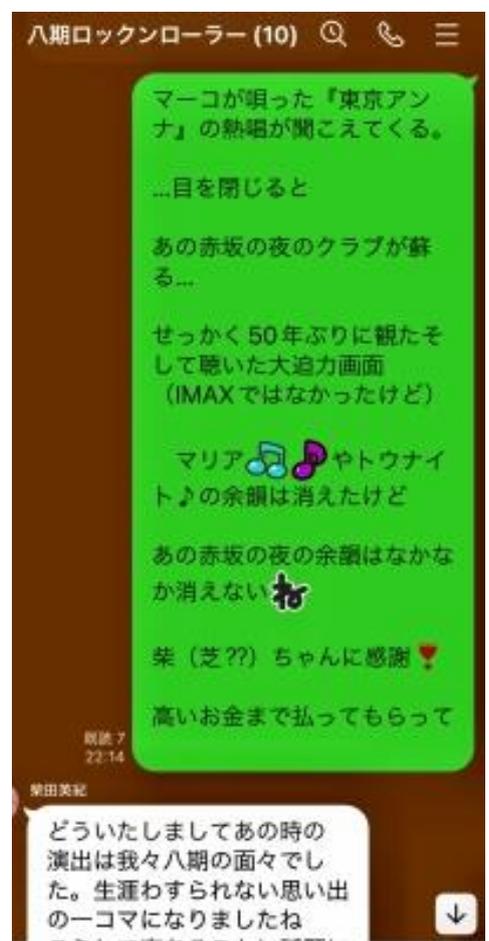
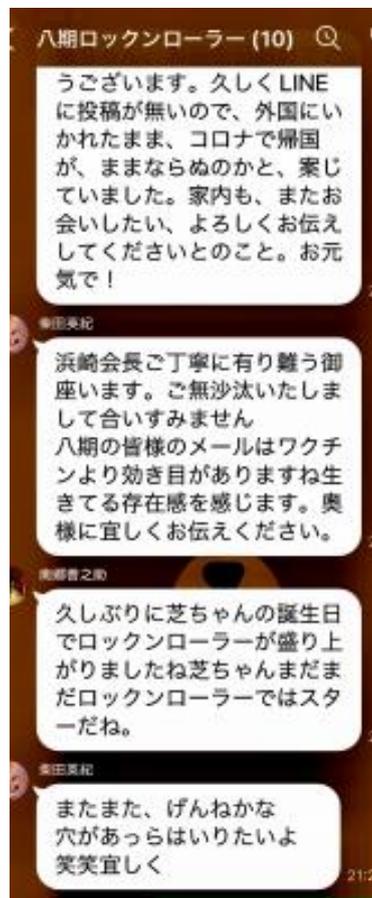
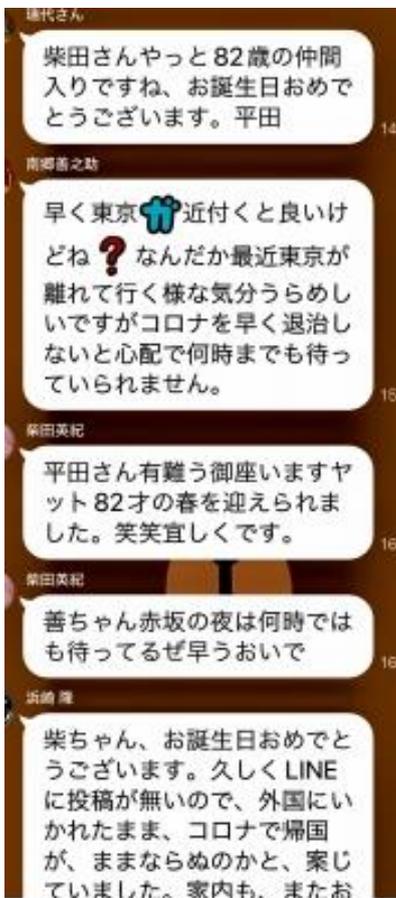
ここに空きが出来ましたので本田さんの「終戦秘話」関係のLINE投稿トークを載せます。

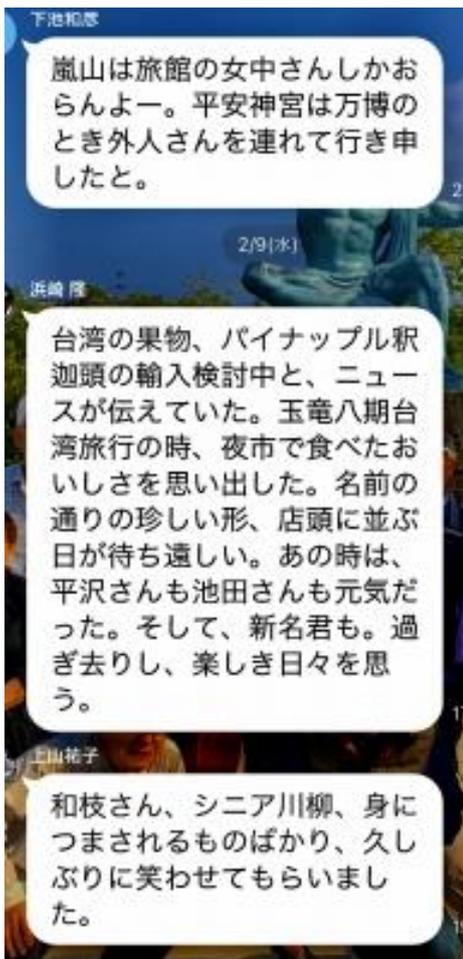
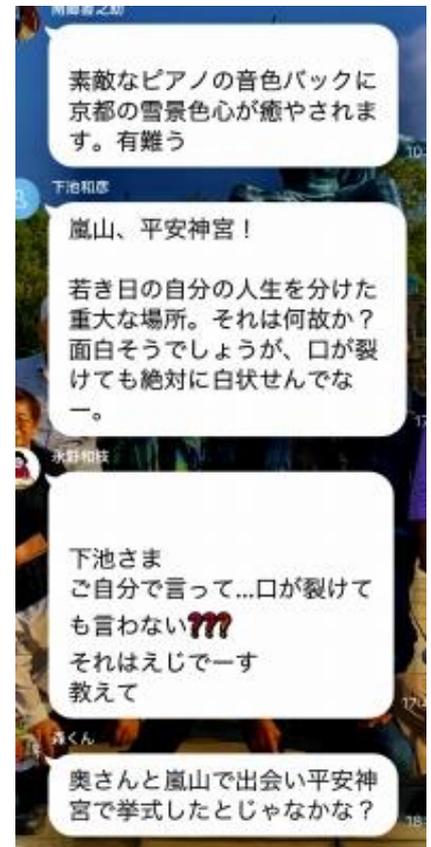
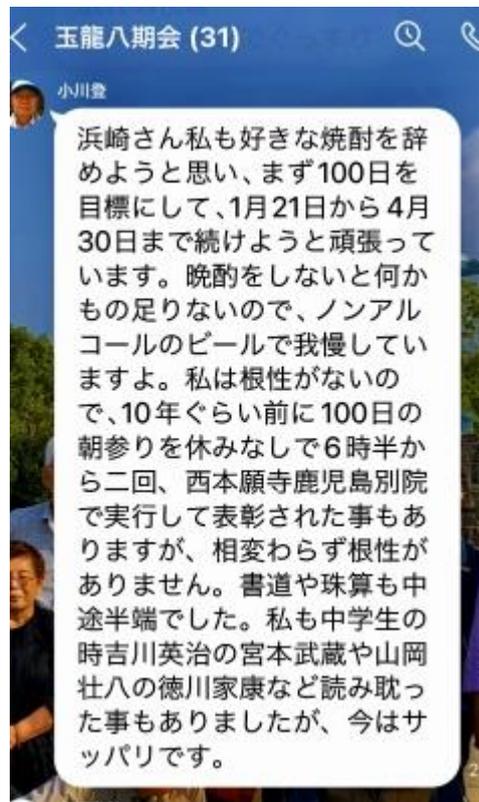
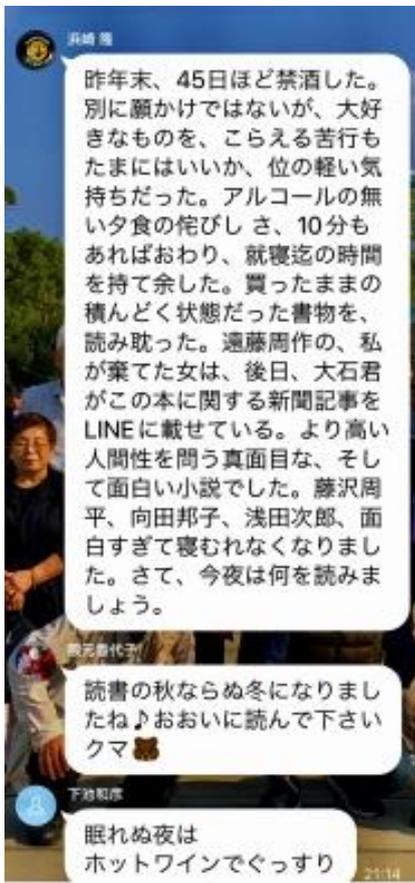


2月の下旬に来ているスマホ八期交流サイト・・・『LINE 八期グループ』から抜粋お届け！！









〇2月17日

古文書の中の横顔①始まりです



内容はまだ1回目なのでよくわかりませんが、今迄ので歴史物に比べると大衆もの（読み物に例えたら山本周五郎や藤沢周平）といった感じ…ただ古文書を読み解きながら解析していくのが楽しみでもありますね。

昨日は村上春樹原作の今年のアカデミー作品賞候補『ドライブ・マイ・カー』を観てきました。

今週は4日前に青春時代の思い出映画『ウェストサイド物語』スピルバーグリメイク作品と連続観映でした。

大画面大音量ゆったり…もいいけど、映画館鑑賞の利点はやがてテレビで再映した時観に行った時の自分が蘇ることで。誰と行った…あの頃は元気だった…とか。

遅くなりましたが『ドライブマイカー』は一見の価値あり！おすすめします。

〇中学から高校へかけて、ラブロマンス物を除いて

ほとんどの映画を観ました。

東京に出てからは、オデオン座など3本建てで55円。

江戸時代、庶民もよく旅をしたようです。

女同士でも長期の旅をし、その途次で購入した土産物は飛脚で自宅に届けたそうです。

お金の手形もあったので、所持する現金は少なかったのでは

ないでしょうか？

宿屋で朝夕は食事をとるとしても

時代劇でも茶店で休むシーンはあっても

昼食をとるシーンはないようですが……

連載の今後に期待

西山 和宏

2022年(令和4年)2月17日 木曜日 文 化 10

古文書の中の横顔①

歴史学者 尾脇 秀和

直吉夫婦は旅に出た

夫の旅江藤して、下知村の主戸衝が作成した往来手形が現れている。直吉夫婦は旅に出たのは、文政11(1800)年のことである。江戸時代、庶民が旅行する場合、往来手形と呼ばれる身分証明書を発行した。直吉夫婦は、この往来手形を所持して、旅に出た。

往来手形に書かれた理由

夫の旅江藤して、下知村の主戸衝が作成した往来手形が現れている。直吉夫婦は旅に出たのは、文政11(1800)年のことである。江戸時代、庶民が旅行する場合、往来手形と呼ばれる身分証明書を発行した。直吉夫婦は、この往来手形を所持して、旅に出た。

文政7年3月江戸下知村観光。直吉夫婦は、この往来手形を所持して、旅に出た。直吉夫婦は、この往来手形を所持して、旅に出た。

○仏カンヌ国際映画祭で脚本賞を受賞し、米アカデミー賞で日本映画初の作品賞にノミネートされた話題の作品である。



大変な感銘を受けたが、同作については多くの評が出ている。

ここでは原作との比較から見た魅力を記した。

同作の原作は村上春樹の同名短編である。妻に先立たれた50 絡みの男性俳優が、亡き妻の浮気の謎について一世代下の女性と語りあう。

そして一種の許しに至るという物語だ。

村上春樹は現代日本を代表する小説家である。当然の評価だが、他方で彼はきわめて男性的な作家でもある。

村上文学に登場する女性は、男性に欲望や気づきを与える存在としてのみ描かれ、単体では生彩に欠けることが多い。原作も同じ欠陥を抱えている。

一言でいえば、結局は主人公の孤独なダンディズムで終わる(とも読める)話になっているのだ。

けれども濱口は、多くの設定を加えることでその罟(わな)を巧みに回避している。映画版では妻の死因も浮気相手の年齢も変わっている。

聞き手となる若い女性の内向的性格も背景が一段と深められている。

そのことで物語が男性一人のものではなくなっている。

全国大ヒット上映中！
2022年2月18日(金)
DVD・Blu-ray発売 | TSUTAYA 先行
DVDレンタル開始

とくに決定的な改変は、主人公が国際演劇祭に出向き、**演出家**として日韓中フィリピンの役者とともに共同で舞台をつくるという設定が導入されていることである。一つの劇を演じながら言葉は通じない。それはむしろ不実を隠しながら維持した夫婦関係の隠喩だ。

だがそれは裏返せば、言葉など通じなくても一緒に劇は作れるという希望でもある。このような仕掛けによって、映画は実に多視点的な作品になっている。

村上版の男性は最後まで静かに思い出を語るだけだが、濱口版では泣きながら妻への怒りを叫ぶ。そしてその感情の爆発こそが、聞き手の女性に新たな人生を開くことになる。

私たちはみな孤独で傷ついているけれど、同時にその傷を通して繋(つな)がることができる。それはまさに現代世界が必要としている希望の形である。日本からこのような普遍的な作品が現れたことを喜びたい。

○本田さん 「終戦秘話」



「終戦前後のわが家の台湾からの引揚げ(帰国)までの動向」からまず読みました。大変なご苦労をなさった様子が映像を観るかのように感じ取れました。

こんばんは🌙!



ある人にメール打ってみようかと思い桜島の写メール付けて送って見ましたら、
凄く感激した返信が来ました・・・桜島の人だったわ!

では他の桜島の人にも
この頃ご無沙汰の人にも出

して見ましたら返信が来た 写メール送って見ますね👤

もう一人の桜島の人からは返信もなくて、また病気で無いよね?と悩んでいます。この人7組の 川崎市川
崎区 藤崎に住む藤崎さん(竹之内) 昨年の同期会で頼んで当てにしてた方は遅刻して来て

この人が会計やら手伝ってくれて

一緒に歌も合わせて歌うし 旅行があったらこの人を誘おうと思ってたのにどうしたのか?

でもこの頃 メールも毎日は見ない人 男性👤もですよ! 関東の中にも 生き過ぎたと言う人が・・・

2~3 人はいます。一人になっている人 ならまだしも

再婚した人までが言うので 残された方はどうなるの

と私が怒った👤⚡のよ!

二階にいて気付かなかった

とか言われるのかね(^-^)

電話で無いのよ メールよ

一週間も過ぎてるのよ

と言いたい時もあるけど👤

とにかく以前の様には行きません!こちらもゆっくり👤👤構えないとね(*~*)

昨日から メール打ってるのよ 明日友引で出そうと

オリンピックも終わり

カーリング🏍が 銀になり

惜しかったので 気分良くないので 最後締のメール打ってみました! やっぱり 長く打てるので 暇人には
此れが良いわ (*∇*)

では 桜島の感想メールもつぎに送ります どう受け取ったか参考までにね👤

もう少し何とか長く打って

と思うけど来るだけ良いか

m(_)_m



○ 大石ですこんにちは👤

丹羽氏はご存知と思いますがかなりの中国🇨🇳寄りの人です。

ぼくがかれこれ 20 年近く所属している【日本中国友好協会】の現在、会長です。

ぼくはこの方にはあまり関心(好きでもなければ嫌いでもない)ありません。

県の協会サイトに届きました。

関心がなければ削除してください。

「今中国政府に日本の向き合い方」のひとつの考え方として読まれたら…。大石

○2月21日 元中国大使・丹羽宇一郎氏に聞く 日本は対中国でどう対応するべきか | 日刊ゲンダイDIGITAL

今年 2022 年は日中国交正常化 50 周年。1972 年 9 月 29 日、当時の田中角栄首相が北京で周恩来首相とともに「日中共同声明」に調印してから 50 年の記念すべき年なのだが、お祝いムードはなく、日中関係はいまや戦後最悪にまで冷え込んでいる。それは政治や外交の現場だけではない。日本国民の対中感情の悪化も極まり、世論調査では 9 割が中国に良い印象を持っていない。米中対立のエスカレートに伴い「台湾有事」も語られ、不穏な空気も漂う。現状を憂い、永続的な日中友好を願う元中国大使に話を聞いた。



<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/301465>

○丹羽宇一郎さんがどのような人か、分かりやすい記事でした



いくつか拾ってみました

ちょっと感覚がずれています。

「チャンコロ」などと言われても、若者に分からないではないでしょうか？

ひとつは中国をいまだ侮蔑しているからではないでしょうか。「チャンコロ」

米国は台湾問題で中国と茶番劇みたいなことをやっているということです。

「台湾有事」となって、台湾のために米国の軍隊が台湾に入っていくとしても、結果は見えている。米国は絶対に勝てません。

習近平は頭の良い男です。いろんなことを念頭に置いて、「これをやってくれ」と指示し、「こういう報酬を約束する」「やらないやつは罰だ」と信賞必罰を実行しています。

論調として、日本を見下したもので、読後感はよくない。

私は、早晚、中国は米国と折り合いをつけると思っています。

米国もそのタイミングを計っているでしょう。

日本は、米国にも中国には、強硬かつ柔軟に、強かに

お付き合いをさせていただきたいものです。

リーダーが私利私欲を去れば可能です。

=====
西山 和宏
=====

○情報ありがとうございます。



丹羽さんのおっしゃる通りだと思います。

私も習近平という人のことは印象からどうなのかと思っていましたが、実際に言葉を交わした日本の知識人で中国大使までやった丹羽さんのおっしゃる言葉である程度納得できました。

確かに日本がアメリカに追随して台湾云々のときにどうするのだろうと思っていましたが、それにも答えを見出した気がします。

これからは、私も思っていたようなことなので、自信を持って自分のスタンスを貫きたいと思います。

隈元達雄



大石さん

西山さん

隈元さん

大石さん 連絡ありがとうございます。

早速、西山さん、隈元さんから ご意見 出ており 読ませていただきました。

大石さんは 日中友好協会 日中友好活動もされており、多分 最近の日本での中国に対する感情も決して好感できるものではないと感じながら 活動されておられるのでは…とっていました。

私も 本日 日刊ゲンダイ DEGITAL で読み コピー取り もう一度読み返したところでした。

皆さんから メール届き 見ました。

丹羽さんは 伊藤忠の社長、会長の後 2010年6月から2012年12月まで民間出身として初の中国大使を務められ、2014年には PHP 新書から「中国の大問題」という本を出版されています。

生まれも 我々と同世代 昭和39年生まれ 親中派と決めつけないで氏の中国論はきわめて誠実でまっとうであると評価されていました。

確かに 商社出身である故 なにか おたがいがうまく生きる道はないか…という点についても私も 同感するところあります。

いま ウクライナ問題 真っ最中 戦争は避けたいです。お互いが不幸になります。

日本として米中のはざままでどのような対応したらよいか 一つの生き方を示されようと感じます。

簡単には いかないと思いますが 今さら 防空壕掘って…など 70数年前に経験しような事は 今の時代には 無理です。どうしたら 敵が攻めてきたら 防ぎますか… 今戦争が怒れば 核兵器使用まで行けば 世の中 この世は 終わりとなるような 多大な被害が起こります。なんとか そのようなことにならぬように 政治力で防ぎたいと願っています。

木場 祥雄

〇2月26日

大石さんこんにちは



「日刊現代の元中国大使に聞く」を拝見しました。帰国後はどこに雲隠れしたのかと思っていましたが、

日中友好教会の会長に収まっていたのですね。そもそも会長などというのはのどんな役割があるのですか。

政治的にも、経済的にもこれといった役割はなさそうですが、また中国側にも「中日友好協会」のような団体なのですか。あるとすれば日本にどんなアプローチをしているのでしょうか。

さて、同氏の論点は、台湾有事の際など軍備増強などする必要はなく、仲良くすればいいということですね。

つまり平和憲法を順守して、国防増強など必要なしと言う考え方なんですね。左翼勢力が喜びそうな意見ですね。

日本のシーレーンなどは問題ないということですかね。また尖閣列島問題についてはどう考えといるのですかね。

おめでたい限りと言うべきか。

中国に対して悪感情が高いのは事実でしょう。それは主として共産党及び共産党政権にしてであって、一般国民層は、何度かの中国旅行などで接した限りはとても友好的だったように思います。なお、

現在、チャンコロなどという侮蔑的な言葉を口にする日本人はほぼ皆無ではないでしょうか。

佐倉市 古市

〇お久しぶりです。2月26日

今日は南日本新聞社ホールで歴史講演会があり南郷くんと行って来ました。



丹羽さんは日本中国友好協会会長ですがまだ4年目くらいにですかね。

中日友好協会(唐家セン会長)もあります。お互い使節団交流があり、九州などは総領事館と各県の協会との友好交流など民間(企業や留学生)交流も結構盛んです。

協会間は政経分離というか国同士でも政治問題はお互い控え気味です。

ぼくは一貫して留学生支援と日中の橋渡し役です。政府のやり方には無関心(関心を持ったら賛成出来ないでしょう)。

たくさん中国人友達がいますけど親(シン)をつけたい仲間たちです。

ロシア人とウクライナ人(政治抜き)も民間交流は親のつく仲良しだと思います。

その点では宗教の絡む族関係(トルコやイスラエルなど)とは違うと思います。

オミクロンが治る頃には庄八郎くんの体調も元通りになるのでは？

一緒に東日本のぶらり旅でもしたいなあ。

〇2月27日

昨日は下記講演会に南郷くんと参加しました。

作人さん講演五代友厚の明治までの話し90分もなかなかいい勉強になりました。



ロシアというよりプーチン🇷🇺の悪行によるこれからの

のヨーロッパ情勢さらには我が国を取り巻く東アジア情勢まで世界はほんのひと握りの人物の(想い)で平和も破滅も握られているという現状を今見せつけられています。

自国は自国でしか守られない、今からでも遅くない...日本人の多くがそう思われた1週間ですね。

市内で世界遺産シンボ

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンボウが26日、鹿児島市の南日本新聞会館みなみホールであった。旧鹿児島紡績所技師館(異人館)と、明治の経済発展に尽くした五代友厚との関わりを講演や研究報告で紹介。歴史ファン約300人が聴き入った。

歴史作家の桐野作人さん(出水市出身)が基調講演。五代が紡績機械購入に当たったとして「留学生派遣と同時に、紡績機械の導入を求めた。費用調達の方法も具体的に示す経済感覚が、彼のすごさ」と語った。パネルディスカッション

異人館と五代 歴史ひもとく

大人さんは「絵本の挿絵を見る気持ちで気軽に楽しんでもらえたら」と話した。

で、尚古成館の松尾千歳館長は「異人館は、江戸時代に完成した国内初期の洋風建築。日本人が試行錯誤しながら西欧文化を取り入れた様子が分かる」と価値を強調。発掘調査に携わった鹿見島市文化財課の藤井大祐さんは「近年の発掘や新資料の発見で、当初の位置や内部の様子も分かってきた。調査結果を基に整備を進めていく」と話した。

イベントは県と市教育委員会が開いた。(野村真子)

〇いろいろな話題ありがとうございます。

ロシアのウクライナ侵攻で、日本では防衛費増額が容認されそう

五代は、行動が軽快で、富国強兵のために活躍した。

聴衆 300 人は凄いです。

黄金郷（エルドラド）山ヶ根のゴールドラッシュ

もう出ないのかしら



西山 和宏

〇山ヶ野金山を訪ねた時のブログを添付します。



昨日から始まった話は面白いですね。続きが楽しみです。

その昔の黄金郷で一山当てようとした欲ボケさんに現役時代に騙された男がいます。

他でもない私です。

ある日、会社に飛び込んできたおじさんが「山ヶ野金山跡で未発掘の場所があるので掘りに行く

ついてはヘルメットや安全靴など買いたい」というので飛び込みの客には絶対してはいけない掛売りをしてしまいました。

その少し前に鹿児島では菱刈の住友鉱山が金の採掘を始めており、そこの安全用品の全面取引が始まっていたのでついつい

「欲ボケ」になっていた私が「柳の下の二匹目の泥鰌」を狙ったのが間違いで、営業マンが現場にも行って20人くらいが働いていたようなのですが

しばらくするとドロン！ してしまいました。10万円ちょっとの被害だったように記憶しています。

隈元達雄

"<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201811140000/>" />

〇「西郷隆盛の征韓論」について書いてみました。

ご意見があれば遠慮なく書いてください。

そしていろいろご教示ください。 隈元達雄



やれ掘れ まだ掘れ 忘れの黄金郷 山ヶ野 2

退去命令 飢えるとも追い払うべし

山ヶ野には藩内外から多くの移住者がやってきた。鉱石を砕き、金を回収する様子が描かれている（『三国名勝図会』より転載）

宣之丞領主の島津久通が山ヶ野金山を発見してか、後（大分県、筑前（福岡））の年々の1642（寛永8）年、大坂（大阪府）と豊後（大分県）の藩に移住許可が出た。19年、幕府から薩摩藩に移住許可が出た。以降、山ヶ野には江戸時代を通じて藩内外から相当数の移住者が入り込んだ。技術者や肉体的労働の作業員、彼らの暮らしを支える商人などで、今も山ヶ野地

区には石見（高知県、や豊）いた。隣接する茶屋地区で育った宇都隆吉（66）と霧島市横川（68）は、宇都さんによると、「あな」を「ほん」という具合に、聞き慣れない単語も使っていた。多くの移住者を受け入れた土地で、独特の言葉遣いが形成されたことを物語。

移住者について、尚古集（成徳、鹿児島市）の松尾千歳館長（69）は興味深い指摘をする。その一例が、久通によって石見から招かれ、金山発見に貢献した内山与右衛門だ。

中国貿易をしていた島津氏の輸出品は石見の銅だった。元々、薩摩と石見には人、船、物資が行き交う独自のパイプがあり、山ヶ野開墾に生かされた可能性もある。

裏付ける史料として挙げられるのが、金山発見から60年以上前、戦国武将の島津家久が京都を訪れた際に記した日記。山陰方面から掘

1640年 発見 移住者続々 1953年 閉山

産出多く幕府が警戒

山ヶ野地区の寺跡に残る江戸時代の墓石。「石見之住人」と記されている

見から話聞、本格採掘を経た3年間で産出した金は約26トンとされる。だが、移住許可から1年足らずの1642年12月、幕府は山ヶ野の閉山を命じた。当時、寛永の大動亂のさなかで、食料がないのに金山開採している場合ではないとの建前。た、あまりの産金量の多さに幕府が警戒したとの説が郷土史などで広く支持されている。

金山から全員退去するよう通達され、出入り口は封鎖された。「たとえ路上で飢えをとも、構わず早々に追い払うべき」との厳しいものだったと、横川町郷土誌は伝える。

山ヶ野での採掘が本格的に始まると、昼夜問わず作業が行われた。霧島市文化財保護審議会委員の有川和秀さん（81）は「初めは地表面に近い場所から採る露天掘りが主流だった。坑道を掘るよりも簡単に大量の金を採れていた」と話す。発

大坂陣の陣で滅ぼされた、秀吉の息子・秀頼の遺児園松を薩摩藩がかくまい、日頭や「舟祭」など薩摩の海運関係の人も登場し、両地域の深いつながりを感じる。

日出藩（大分県）から熟練の鉱夫約30人が山ヶ野に送り込まれている点にも注目する。経験豊富な人材を譲るには理由がありそうだ。記録は残っていないが、山ヶ野での採掘が本格的に始まると、昼夜問わず作業が行われた。霧島市文化財保護審議会委員の有川和秀さん（81）は「初めは地表面に近い場所から採る露天掘りが主流だった。坑道を掘るよりも簡単に大量の金を採れていた」と話す。発

○難題に取り組まれたことに敬意を表します



このことについて整理はついていませんが、少しばかり、思っていることを書いてみます

私は征韓論とか征韓論に敗れとかは、ことの本質を見失わせていると思っています。

板垣退助への手紙は、当時、最も激烈な征韓論者であった板垣の行動を抑えるもので板垣の論に反対するのではなく、必ずあなたの希望通りにするからまずは、私を朝鮮に行かせてくれというものであったと思う。

西郷さんは、徳川慶喜に切腹させると最も過激な意見を吐いて強硬派の声を抑えた山岡鉄舟あたりに言われて、穏便な措置をとるような状況ではなかったはずである。慶喜に穏便な措置は、最初から考えていた筋書きであったろう。西郷さんは禁門の変でも長州兵を丁寧扱ったが、会津は斬ったそれが激烈な会津城攻めになった。

終戦直前、阿南惟幾陸軍大臣は、陸軍の先走りを抑えるために、本心とは異なる戦争継続を主張したと、「大日本帝国最後の4か月；迫水久常著」にある。そのことを察していた鈴木貫太郎が侍従長であった阿南は侍従武官であった。終戦には鈴木と阿南の阿吽の呼吸があったと思う。

ここまでで、指摘したいのは、西郷さんには、私が行けば戦争にならず必ず説得し平和裏に収められるという目算があったと思う。ところが周囲に戦争をしたがる輩をなだめるために私が行って殺されたら出兵の大義名分がたつと、強硬派を抑えたのであろう。より過激な論で強硬派を抑えるのは、西郷さんが最も得意とするところである。

さて、最も述べたいことは征韓論に敗れて下野という見方は短絡的だと思う。廃藩置県直後の2年近くも確たる目的も成果もなく外遊した者たちに反対されたことは、腹に据えかねたと思う。かねてから大名のような生活ぶりにもあきれていたと思う。維新によって、何をなすべきかについて、考えや意見に大きな違いがあった。明治6年の政変の本質は、征韓論ではなく国家運営に対する考え方と生活態度の批判であった。

そのような政府はやがて瓦解すると、西郷さんはよんで鹿児島で兵を養いことにした。佐賀の乱は、政府瓦解の前に起こったので、西郷さんの予定とは違った。

西南戦争が起こった遠因または真の原因は、政府首脳の腐敗にあった。それを証拠立てるものとして、明治を通じて汚職がなかったという。

これは西郷さんの置き土産です。

プーチンも習近平も汚職腐敗退治で国民の支持を得ている。

=====
西山 和宏
=====

編集者より



今月は巻頭文もなく、ちょっと寂しいオンライン通信になるのかなぁ・・・と思っていましたら、20日過ぎてから世界を震撼させたロシア(というより独裁者プーチン)による兄弟国ともいえるウクライナ爆撃・・・

第三次世界大戦の引き金を引いた大事件が勃発しました。

日に日にマスコミからの報道に目が離せないうちに、2月の『八期オンライン通信』の締切日が迫っていました。半分以上未完成でしたので、かなり慌てています。

おまけに、今月はいつもより2日短かった・・・と言うのまで忘れていました。

その最終稿を書いているところに、隈元クンから『西郷隆盛の征韓論について』という大きなテーマが入って来ました。

さっそく西山論客が速達即答文を書かれたけど、編集者としては、このテーマは来月にゆっくり語り合いたいと思います。

関東のもう一人の論客・崎元雄厚クンにも是非参加して欲しいと、オファーします。

。・・・と言うわけで、2月号は今日28日午前1時で最終校正に入らせて載せます。 大石

